

**【主旨】**  
東北地方太平洋沖地震による地震・津波被害に加え、福島第一原発事故により未曾有の被害を被った福島県浜通り地方。原子力災害という知覚し難い大災害を前に、東北地方に暮らす専門家でさえ、依然としてその実情に触れる機会が少ないのが現状ではないだろうか。

この地では、行政・公共サービスの一部が閉鎖され、住民が日本全国へ避難するなどして復旧・復興が大きく立ち遅れてきた。しかし各自治体においては、避難指示区域の解除状況などにより進捗は大きく異なるものの、発災直後から地道な地域・生活再建の取組が進められている。

原子力災害がもたらした制限によって部分的な閉鎖を余儀なくされた地域における9年間。帰還者がいまだ少なく復旧もままならない地域が多くある一方で、力強いパイオニアたちがその困難を切り開く姿も垣間見える。見方によっては、課題先進地として他地域の将来を先取りした取組を映し出している場合もあるだろう。

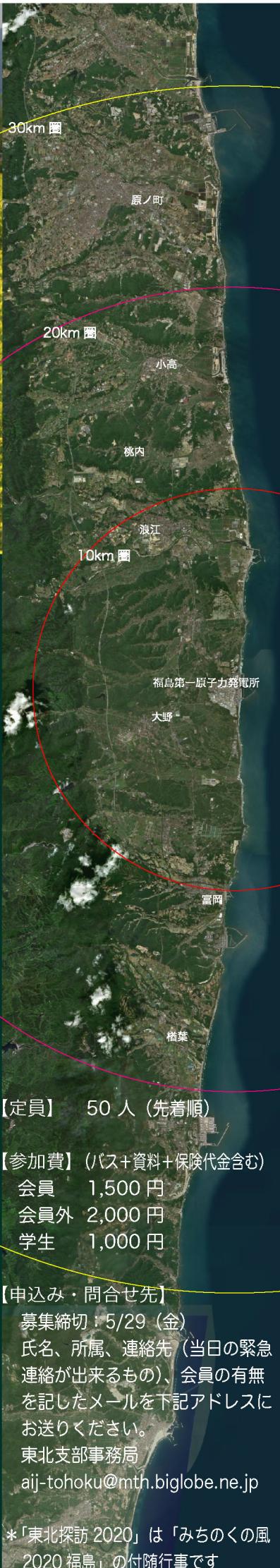
復旧・復興の進む町を探訪し、参加者一人一人が今なすべきことを考える機会となることを望む。

#### 【スケジュール】

- |         |  |
|---------|--|
| 8:30    | 福島駅前 貸切バス出発  |
| 10:00   | 常磐線原ノ町駅立寄り、同駅からの参加者をピックアップ<br>[常磐線：仙台駅 8:13 (発) --- 原ノ町駅 9:36 (着)] |
| 18:00 頃 | 福島駅前 貸切バス着 解散  |

#### 【訪問先】（当日の都合などで変更の場合があります）

- 1) 南相馬市小高区中心市街地 (20km 圏)  
小高復興拠点（設計：山本堺・UR リンケージ設計共同体）→駅前通（おだかプラットフォーム）→小高パイオニアビレッジ（設計：藤村龍至）、その後自由行動+昼食→小高駅前バスプール集合
- 2) 常磐線大野駅前（福島第一原発最寄駅）(5km 圏)
- 3) 株式会社ふたば富岡社屋（設計：はりゅうウッドスタジオ）(10km 圏)
- 4) 楢葉町コンパクトタウン（ならは CANvas（設計：UAPP））(20km 圏)



**【定員】** 50人（先着順）

**【参加費】** (バス+資料+保険代金含む)  
会員 1,500円  
会員外 2,000円  
学生 1,000円

#### 【申込み・問合せ先】

募集締切：5/29（金）  
氏名、所属、連絡先（当日の緊急連絡ができるもの）、会員の有無を記したメールを下記アドレスにお送りください。  
東北支部事務局  
aij-tohoku@mth.biglobe.ne.jp

\*「東北探訪 2020」は「みちのくの風 2020 福島」の付随行事です